

「センター試験」をふり返る

日時／2020年11月23日(月・祝) 13:00～18:00

開催方法／Zoom ウェビナーを使用したオンライン開催 (定員 800名)

▶ 共通第1次学力試験は11回、大学入試センター試験は31回を実施して幕を閉じた。その一つの「総括」として、入試センター調査室を中心に、これら2つの試験の軌跡を辿り、試験の抱えていた課題を掘り起こし、新たな改善を加えるための作業をこの2年間にわたり続けてきた。▶ その間、中央教育審議会、高大接続システム改革会議等の政策審議の場では、新たな大学入試が模索され、来年度入学者選抜からはセンター試験に代わって「大学入学共通テスト」がはじまる。残念なことは、これらの改革審議において、この間の40回余に及ぶ共通試験の経験が十分に活かされていないことである。どこに問題があったか、何が成果であったのかについてほとんど議論されずに終わった。▶ シンポジウムでは前半に調査室から研究報告を行い、後半では大学入試センターの実務についてもふり返りを行う。休憩時間を挟んで続けてご覧いただきたい。本シンポジウムでは、大規模共通試験の課題を浮き彫りにするため、センター側からの報告だけでなく、センター外から複数の指定討論者にご参加を頂いた。今後の改善の方向を探るうえで充実した議論の場となることを期待したい。

13:00-13:10 ■ 開会挨拶 山本 廣基 (大学入試センター理事長)

13:10-16:30 ■ 第1部 大規模共通試験の総括

13:10-13:40 ■ 研究報告1 荒井 克弘 (大学入試センター客員教授)
「ボーダレス化する高大接続」

13:40-14:10 ■ 研究報告2 大塚 雄作 (国際医療福祉大学大学院特任教授/大学入試センター客員教授)
「センター試験問題の作成と課題」

14:10-14:35 ■ 研究報告3 鈴木 規夫 (前 大学入試センター研究開発部准教授)
「センター試験志願者の受験行動と学力特性」

14:35-15:00 ■ 研究報告4 前川 眞一 (大学入試センター特任教授)
「成績データから見たセンター試験」

15:00-15:10 休 憩

15:10-15:40 ■ 指定討論 南風原 朝和 (東京大学名誉教授/広尾学園中学校・高等学校校長)
駒形 一路 (静岡県立浜松北高等学校教諭)

15:40-16:30 ■ 全体討論 南風原朝和・駒形一路・荒井克弘・大塚雄作・鈴木規夫・前川眞一

16:30-16:40 ■ 休 憩

16:40-17:55 ■ 第2部 大規模共通試験の運営

16:40-17:00 ■ 報 告 義本 博司 (大学入試センター理事)
「大規模共通選抜試験を成り立たせる仕組みとその課題」

17:00-17:15 ■ 指定討論 木村 拓也 (九州大学大学院人間環境学研究院准教授)

17:15-17:55 ■ 全体討論 木村拓也・義本博司・荒井克弘・大塚雄作

17:55-18:00 ■ 閉会挨拶 大津 起夫 (大学入試センター試験・研究統括官)

司会/山地 弘起 (大学入試センター試験・研究副統括官)・椎名 久美子 (大学入試センター研究開発部教授)

参加申込

11月17日(火)までに、大学入試センターのホームページよりお申し込みください。

定員となり次第、受付終了とさせていただきます。
また、申込者多数の場合には、機関ごとに人数制限をさせていただきます場合があります。



主催 独立行政法人大学入試センター

大学入試センター
入学者選抜研究に関する調査室
TEL : 03-5478-1216 (直通)
E-mail : sympo2020@cen.dnc.ac.jp

お問合せ